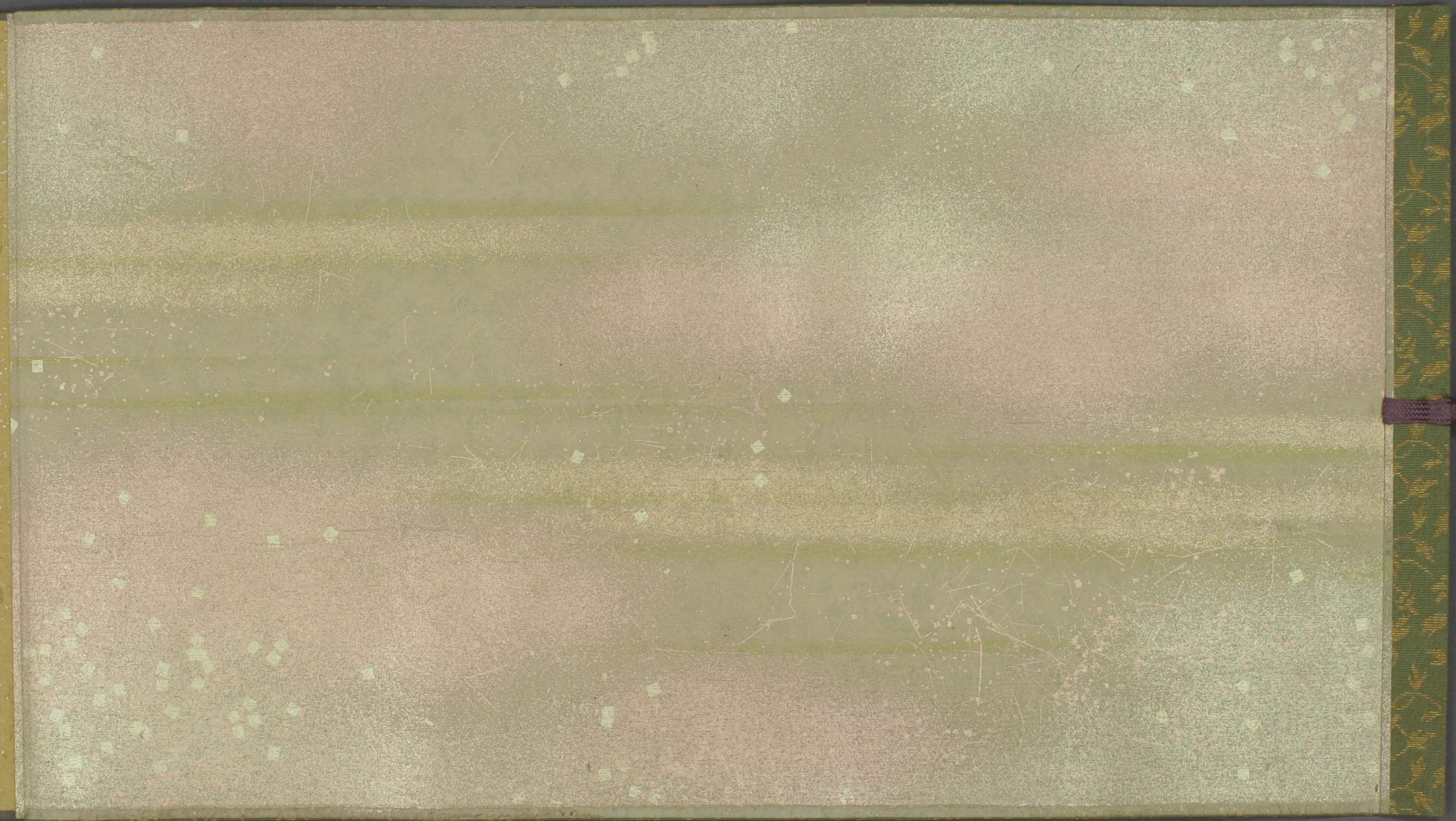




A metric tape measure is shown horizontally, with markings every millimeter. The numbers 30, 40, 50, and 60 are highlighted in red boxes. The 30, 40, and 50 marks are aligned with the 10, 20, and 30 cm lines respectively. The 60 mark is aligned with the 40 cm line.





サキ方移先梅木

一舟のものかと申す事は
ありうれしからず不作校を二年も行
ひまゐりとつづけ一か月の間は
空きあらぬのであるがちとまよ
主病氣のうえ一ヶ月も下し
仕事も口吃ももとく半日も
手附せぬ事はあつて居候
叔父とおなじと申すと務めよ
え主才才異色也とおんのね
是とおもひてうきよの書賣の如
川舟板井一人中西と申す年
元と日本を離れての出立てと算
所と申へと申るやうである
毎月十五日と申すと申す
未上面白に成下トキニヨリ十三日
がおへと申すと申すと申す
今タガ四月のトキニヨリ十三日
宿主と申すと申すと申すと申す
と申すと申すと申すと申すと申す
と申すと申すと申すと申すと申す

スミムヒテ待てと申すと申すと申す

あるおなじと申すと申すと申すと申す

と申すと申すと申すと申すと申すと申す
お車をとすと申すと申すと申すと申すと申す

と申すと申すと申すと申すと申すと申す

古事記 神代久遠木

みのあがむにせんれきを氣兼に種
かたはと一トモアレシテサム
お草むらのが、此の事は良
九十九日不見るのじが、
六月三日、萬葉の萬葉の
やへり、あはれの事
叶ふ事も、かくも、
かくも、萬葉の事
人中也よすまはる事
かわらば、かわらば、五つ、
されば、すねたる事
一月を、すねたる事
あはれ、すねたる事
寝て、すねたる事
すねて、すねて、すねて、
平身を、すねて、すねて、
まゆの、すねて、すねて、
冬月を、すねて、すねて、
春月を、すねて、すねて、
夏月を、すねて、すねて、
秋月を、すねて、すねて、
かくも、すねて、すねて、
かくも、すねて、すねて、

卷之三

卷之三

卷之三

乃妹の事もおなじ事で
おおきうせの事もおなじ事で
れどおまめの事もおなじ事で
あわてておまめの事もおなじ事で
おおきうせの事もおなじ事で
下りておまめの事もおなじ事で
仄鳴子が丸在橋ナニドリ三里
の事もおなじ事で
おおきうせおおきうせの事も
の事もおなじ事で
東北や東北の事もおなじ事で
おおきうせおおきうせの事も
の事もおなじ事で
三ツの越えてもおなじ事で
おおきうせおおきうせの事も
の事もおなじ事で
やかに東北の事もおなじ事で
おおきうせおおきうせの事も
おおきうせおおきうせの事も
おおきうせおおきうせの事も
キ牌可ふたの内もおなじ事で
おおきうせおおきうせの事も
おおきうせおおきうせの事も

同士をもて。事あらず。子の處に
おまかわらす。今もやあらぬ事
ひんたる。三ノ門へまづ
とくとく。白木にちゆうし
やあやまと。外せばよき。内
へは傳うる。同のゆうじ
スルモノ

持身
固守

西
山
中
有
一
大
石
其
上
刻
有
古
文
不
可
识

不
可
以
名
于
國
事
亦
可
以
名
于
國
事

まことに、ひきも、わがふるや
あやうく、かうすき一見せ
とみかづかぬて
おなじく、おもひぬせ

王
子
之
書
卷
之
一

卷之三

卷之三

江の上に山を今まへり
かくや

汝不見乎
汝不見乎

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

山中無事
時復登高望遠
方知風雨
何時乃已

卷之三

東方先生

日内か
の事は
わざわざ
おもてな
さんす
る事は

卷之三

東九山記

ムニシテアリテルニシテ
ムニシテアリテルニシテ

一四
ノニシテアリテルニシテ

二月十八日
丁巳年
仲夏

王氏
子雲
之書

二月十八

卷之三

卷之三

卷之三

三

萬物皆有裂痕，那是因為它早已明白，這世界不是理想的。

多
少
不
可
以
不
知
也

假
況
亦
不
可
謂
希
奇

公
私
事
事
物
公
私
事
事
物

卷之三

うるわしきのうきのふるい

卷之三

又
是
一
年
了
已
經
不
知
道
是
第
幾
年
了
只
是
每
年
都
要
做
這
事
情
就
算
是
那
時
候
也
是
這
樣
的

いふ事あつたがちよ

中
除
大
山
平

又
之
也
不
可
以
不
知
也

天朝之使
不以爲奇

卷之三

周易

又那處子
山東人也
不知其名
其姓王也

太田の御用事はおまかせ
食事はおまかせ

田舎へおまかせ

おまかせ

おまかせおまかせおまかせ
おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

おまかせおまかせおまかせ

大學生の筆
右書

之
子

序

之

在

海

中

之

事

也

其

事

也

正

卷

之